

○合格体験記

・きっかけ

私は高校1年生の3学期から、国公立高校前期受験前まで通いました。ポストに入っていた三次元グラフの書かれたチラシを見て、この教室なら楽しく数学を学べそうだと思ったことがきっかけです。また、数学のプロと自称する江口先生にお会いしてみたいと思い、興味で教室の門をたたきました。

・よかったこと

1. 個別に対応

途中入塾かつ難関校志望でしたが、自分に合わせてカリキュラムを組んでくださり、教科書レベルからハイレベルの過去問演習まで幅広く教えていただきました。

個人的な質問にも対応、また授業中にいくつかの解法をめぐって議論になることもありました。

2. 楽しく量をこなす

週二回あり自習可なので、練習量の確保と考える練習に最適でした。これは計算力、集中力強化につながります。

また、自分では手を付けないであろう様々な問題に触れられ、初見の問題を解き切る練習にもなりました。

何より、1年生の始めは、数学を恐れ、苦痛を感じながら勉強することも多々ありましたが、この教室に入り、数学を楽しむ先生を見て、考えることを楽しむようになりました。

3. 教科書、学校の授業とは異なる見方も

様々な問題を解く中で、学校で解いたことのある問題にも出くわします。違った解法や、同じやり方でも解き始めのひらめき方の違いなどもあり新鮮に感じられました。

学校の授業の予習復習、授業内容の理解の強化になりました。

4. 直接的な助言

計算する、反復する、基礎へ戻る、ということをどんな生徒にも繰り返しておっしゃってくださいます。しばしば反省させられ、モチベーションにもなりました。

さらに、問題演習に加えて様々な公式の証明をする時間をとってくれることがあり、理解が深まりました。

5. 先生とのおしゃべり

おしゃべりな先生で誰とでも気さくに話してくださいます。私の場合は、教室で学年をこえた出会いがありました。

・最後に

教室に通いながら数学の勉強を続けていく中で、自分で難問にぶつかり（1、2年生の時は教科書例題が難問でした）、自分がわからないところを発見し、反復することでいろいろな解法を自分の思考の中に組み込んでいくこと、その繰り返しが大切であると気づかされました。最初からわかる、できることを期待されているわけではありません。いかに自分の頭で考え、自分で実験し、発見していくかが重要だと思います。

それを実践する場として、江口数学教室での勉強は私にとって大変すばらしいものとなりました。

東京大学教養学部理科二類合格

修猷館高校卒